



野本 信行 議員
中期プランに基づく今後
5年間の施策の展開は

少子化の歯止め対策は

質問

少子化の歯止め対策及び若者の定住対策について伺う。

市長答弁

少子化の歯止め対策について

では、次世代育成支援行動計画に盛り込んだ事業を着実に推進していくことで進めていく。中でも新年度からは、18歳未満、通算第3子に係る保育料を無料とし、少子化対策を図っていく。

若者の定住対策については、働く場の確保、子育て

支援と子どもの教育環境の充実、余暇活動の環境整備が重要とされており、働く場の確保では、企業の新規立地や増設に対する優遇制度の継続を行っていく。子育てと教育環境の充実では、休日保育や休日の保育園遊戯室開放、英語検定費助成等による学力向上を行っていく。余暇活動の環境整備では、体育施設や生涯学習センターの整備、イベント助成等を行っていく。



古畑 浩一 議員
ジオパークの事業
推進と産業連携は

具体的なアクションプランは

質問

ジオパーク推進のための具体的なアクションプランと総合プロデュース、糸魚川ブランド策定委員会の設立及び糸

魚川ブランドの価値を高める産業間連携について伺う。

市長答弁

アクションプランと総合プロデュースについては、専門家の意見を取り入れ、戦略的なプランを新年度に作成したい。

運動による健康づくりの推進は

質問

運動による健康づくりの推進及び地元就職の促進対策について伺う。

市長答弁

運動による健康づくりの推進については、地区運動教室を中心に、人材育成に努めながら教室の開催数を拡大するとともに、建設が始まる健康づくりセンターでの健康づくりメニューの充実を図り、運

動を实践する人の割合を増やしていく。

地元就職の促進対策については、雇用創出のための企業支援、市内企業に対する理解、市内就業者の就労継続と技能向上に対する支援が重要と考えており、具体的には、企業の人材育成の取り組みへの支援、市外在住者への就職情報等の提供、企業求人説明会、企業見学バスツアー、資格試験受験料の助成等を実施していく。

新幹線整備促進、赤レンガ車庫とキハ52の保存利活用策は

質問

新幹線駅、周辺整備計画と問題点及び赤レンガ車庫とキハ52の保存と活用策について伺う。

市長答弁

新幹線駅、周辺整備計画と問題点については、当初に想定していた事業費が大幅に増加したと認識している。自由通路及び橋上駅舎は、総事業

費約38億円を用途に整備を進める考えであり、現在、これに基づきJR西日本及び鉄道・運輸機構と協議を進めている。

赤レンガ車庫については、レンガ車庫保存活用研究会等の意見を聴きながら、駅周辺での利活用を図っていき

たい。キハ52については、4月以降もイベント等での運行をJRへ要請している。その後については、糸魚川の地で展示保存して、誘客等に活用する方向でJRと協議していきたい。